

# 専門ゼミとは



- 専門教育科目演習(ゼミ)では、担当教員の指導のもと、設定したテーマについて調査・資料収集をして、レポートやプレゼンテーション資料を作成し、それをもとに他の学生と討論する形式をとります。通常の授業とは異なり、少人数制で2年間継続して履修することが前提です。
- ゼミの活動を通じて、将来の実務で必要となる課題設定および課題解決能力、プレゼンテーション能力、コミュニケーション能力、文章作成能力を養います。また、合宿や懇親会など、担当教員や他の学生と交流する機会も得られます。
- 商学部には2026年度現在、6トラック(経営、会計、マーケティング、ファイナンス、保険・リスクマネジメント、ビジネスエコノミクス)と「総合・学際科目分野」のゼミが70以上設置されています。
- ゼミは、以下の通り、半期の専門教育科目演習(ゼミ)と専門教育科目演習論文(ゼミ論文)から構成されます。

	履修学年	単位数
専門教育科目演習		
専門教育科目演習ⅠA	3年生	2単位
専門教育科目演習ⅠB	3年生	2単位
専門教育科目演習ⅡA	4年生	2単位
専門教育科目演習ⅡB	4年生	2単位
専門教育科目演習論文	4年生	4単位

## ◆ 選考までのステップ

<b>STEP1</b>	<b>説明会への参加</b>
↓	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 興味のあるゼミの説明会に参加し、ゼミの内容や講義の進め方、研究テーマ等の情報を収集する。</li> <li>✓ 説明会は、9月上旬ごろ実施。</li> </ul>
<b>STEP2</b>	<b>応募</b>
↓	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 収集した情報を踏まえ、MyWasedaから「応募ゼミ申請」を行う。</li> <li>✓ Webでの「応募ゼミ申請」と併せて、応募書類を提出する。</li> <li>✓ 1次選考の応募書類提出は、9月上旬～中旬ごろ実施。</li> </ul>
<b>STEP3</b>	<b>選考試験</b>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 応募ゼミの選考日、選考場所等を確認し、選考試験を受ける(レポート課題のみの場合もあり)。</li> <li>✓ 1次選考は、9月中旬～下旬ごろ実施。</li> </ul>

※選考ステップ変更の可能性がありますので、最新情報は商学部HP「ゼミ選考」にて確認してください。

# 特集



掲載は科目配当順

# 専門ゼミ目次

2027年度開講ゼミの募集有無については、商学部ホームページを確認してください。

## ●経営トラック

組織と戦略	藤田 誠	07
ビジネスモデルと競争戦略	井上 達彦	07
企業法研究	和田 宗久	07
経営戦略研究	山野井順一	07
Organizational Behavior	村瀬 俊朗	08
Contemporary Strategic Management	マレン ジョエル	08
応用組織論研究	三橋 平	08
Managing Human Resources	梁取 美夫	08
民法研究	新井 剛	09
イノベーション研究	清水 洋	09
グローバル経営	谷口 真美	09

## ●会計トラック

現代管理会計論	長谷川恵一	09
現代の財務会計	川村 義則	-
財務報告と分析	奥村 雅史	10
企業価値評価研究	大鹿 智基	10
財務報告の研究	山内 暁	10
財務会計研究	八重倉 孝	10
Accounting, Economics and Society	スズキ トモ	11
会計・監査実務研究	関根 愛子	11
組織のデザインと管理会計研究	若林 利明	11
会計・ファイナンス・コーポレートガバナンス	河内山拓磨	11

## ●マーケティングトラック

現代マーケティング研究	恩蔵 直人	12
マーケティング・サイエンス研究(2027年3月退職予定)	守口 剛	12
消費者心理学研究	須永 努	12
Consumer Behavior Research	フランク ビョーン	-
マーケティング・コミュニケーション研究	石井 裕明	12
マーケティング・マネジメント研究	外川 拓	13

## ●ファイナンストラック

The World's Corporations in a Globalized Society	広田 真一	13
コーポレート・ファイナンス	谷川 寧彦	13
フィナンシャル・エコノミクス	尾崎 祐介	13
フィナンシャル・インベストメント	片桐 満	14

## ●保険・リスクマネジメントトラック

リスクマネジメント研究	李 洪茂	14
Study of Insurance from a Global Perspective	中出 哲	14
保険経営と数理	星野 明雄	14
保険法研究	中村 信男	15
貿易商務研究	田口 尚志	15
Study of International Trade Risk Management	任 素英	15

## ●ビジネスエコノミクストラック

マクロ経済理論	片岡 孝夫	15
開発経済学研究	高瀬 浩一	16
コンピュータによる統計分析とその応用	坂野 慎哉	16
企業の経済学	久保 克行	16
計量経済学とその応用	片山 東	16
産業組織論研究	加納 和子	17
Empirical Study of Policy Evaluation	富 蓉	17
数理経済学研究	原 和弘	17
国際経済学研究	横山 将義	17
国際経済関係研究(2027年3月退職予定)	池尾 愛子	18
Economic and Business History: Global Perspectives	矢後 和彦	18
雇用労働研究	小倉 一哉	18
産業・企業ダイナミクス研究	宮川 大介	18
国際貿易と経済学	市田 敏啓	19
国際貿易研究	横田 一彦	19
日本経済史・経営史	結城 武延	19

## ●総合・学際科目分野

西洋哲学史理論研究	辻内 宣博	19
トポロジー理論研究	安原 晃	20
力学系理論研究	渡邊 展也	20
幾何学理論研究	山口 祥司	20
Second Language Acquisition	浅利 庸子	-
英語コミュニケーション研究	佐藤 詩恵	20
音声学・音韻論研究	篠原 靖明	21
スピーチアクト&ポライトネス研究	鈴木 利彦	21
SDGs実践プロジェクト(上級英語)研究 バウワー ジャック ビクター		21
英語辞書と出版	山田 茂	21
ドイツ文化研究	クラウス マヌエル フィリップ	22
メディア文化研究	柳橋 大輔	22
フランス映画研究	M. M. パルヴェーレスコ	22
スペイン地域研究	ロベスハラ サンティアゴ	22
東アジア文化研究	小川 利康	23
中国語圏の歴史とアイデンティティ	中村みどり	23

●経営トラック

●会計トラック

●マーケティングトラック

●ファイナンストラック

●保険・リスクマネジメントトラック

●ビジネスエコノミクストラック

●総合・学際科目分野

## 組織と戦略

藤田 誠



### ■ 研究テーマ

経営学に関するテーマを幅広く扱います。経営戦略、組織構造をはじめ、コーポレート・ガバナンス、リーダーシップ、モチベーションなどに関するテーマも取り上げます。ゼミ論文作成に際しては、各人（各グループ）の興味を尊重します。

### ■ 活動内容

春学期は、教材を指定して輪読形式で実施します。秋学期は、グループでのゼミ論文作成と慶應義塾大学商学部小沢ゼミとのインゼミでの発表・討論がメインの活動になります。また、論文作成のため、統計に関する学習、統計ソフトの使い方なども学習します。

### ■ 新ゼミ生へ

ゼミは、各人の主体的な行動が期待されるという点をよく認識してください。

ゼミ Instagram アカウント:

[https://www.instagram.com/fujita\\_zemi](https://www.instagram.com/fujita_zemi)

人数：3年生 15人、4年生 15人 執筆：稲葉 諒

## ビジネスモデルと競争戦略

井上 達彦



### ■ 研究テーマ

「成功した企業」と聞いてどんな企業を思い浮かべますか？いわゆるGAFAYやAirbnbなどでしょうか。いずれの企業もサービスやアイデアは秀逸です。しかし、それだけでは「勝ち続ける」ことはできません。井上ゼミでは「ビジネスモデルと競争戦略」をテーマに、企業が成功し、勝ち続けるための裏側の目に見えない仕組みを研究し、明らかにしていきます。

### ■ 活動内容

井上ゼミでは、特定の企業のビジネスモデル分析から活動をスタートし、「ビジネスモデル研究・教育の起点をつくる」ことを目指して、実務界にも認められる研究成果の創出に取り組んでいます。ゼミでは、座学によって理論を学び、自ら問いを立てたうえで、フィールドワークを通じてその答えを導き出すといった「理論と実践」の組み合わせにより学びを深めています。

### ■ 新ゼミ生へ

私たちのモットーは「考動する知識人」です。机の前で「学」ぶだけでなく、外に飛び出し、自ら問いを立て、考動しながら「学」ぶことを心がけています。この motto に共感し、自身もそうした力を育みたいと強く思うみなさま、ぜひ井上ゼミと一緒に理論と実践による学びを体験しませんか？

ゼミ HP: <https://sem-inoue.waseda.jp>

人数：3年生 11人、4年生 6人 執筆：多田 美月

## 企業法研究

和田 宗久



### ■ 研究テーマ

和田ゼミでは企業法を研究テーマにしています。企業法ってなに？という方が多いかもしれませんが会社は企業法の枠組みで成立しており実は我々にとって馴染みの深いテーマです。具体的には M&A やコーポレートガバナンスなど法律的な視点から様々な問題を深堀して研究しています。

### ■ 活動内容

企業法に関連した研究課題を3-4人のグループで文献や判例を用いて発表を行います。研究を進める過程で法制度や企業づくりの曖昧な部分を指摘し解決策を考え理解を深めることを目的に取り組んでいます。3.4年生と一緒に活動するので法律科目に不安があっても徐々に理解を深めていけるので大丈夫です！

### ■ 新ゼミ生へ

和田ゼミは商学部では稀な法律を扱っているゼミなので最初のうちは理解に苦労することもあるかもしれませんが、幅広い分野の資料を活用するのでその過程で社会の動きを包括的に理解できる点は非常に魅力的です。みなさんのご参加をお待ちしております！

人数：3年生 5人、4年生 7人 執筆：芝本 泰知

## 経営戦略研究

山野井 順一



### ■ 研究テーマ

3年前期には「世界標準の経営理論」と英語の論文を用い、ゼミ生とディスカッションを通して、経営理論について幅広く学びます。その後、メイン活動となるグループ・プロジェクトに入ります。ここでは、グループごとにテーマ設定、先行研究調査、データ収集・分析を行います。ここでの目標は、プロジェクトの成果としての論文を

学内外の懸賞論文コンテストに出し、一等を取ることです。

### ■ 活動内容

私たちは、経営戦略に関する事例を定量的に分析し研究しています。ゼミでは様々な企業事例から経営戦略の理論に基づいて因果関係を導き、仮説を立て、統計を用いて検証します。これらの活動を通して、経営理論や統計学、語学、論理的思考力を体得することを目指

します。

### ■ 新ゼミ生へ

山野井ゼミでは、経営理論のみならず統計や英語論文、企業事例などを広く扱うとともに、論理的思考も求められます。よって向学心と多少の忍耐力が必要となります。将来役立つスキルを身に付けるために真剣に活動したい学生には、ぴったりのゼミです。ゼミ生一同、皆さんの参加を心待ちにしています。

人数：3年生 10人、4年生 7人 執筆：宮田 結衣

# Organizational Behavior

村瀬 俊朗

## ■ 研究テーマ

リーダーシップ、チームワーク、モチベーション、職務満足など、様々な組織の「人」に関するテーマを研究するゼミです。主に2人や3人一組の班を組んで、学生主導で課題や研究を行います。「どんなリーダーシップがチームワークに必要か」「モチベーションはなぜ高まらないのか」など、みなさんも過去に一度は疑問に持ったことがあるのではないのでしょうか。村瀬ゼミでは、

これらの身近にある「人」の疑問に着目して仮説を練り、データ検証を通して、自分達の解を見つけます。

## ■ 活動内容

ゼミでは、「輪読とリサーチプロジェクト」を中心に活動します。3年生では、並履修科目の組織行動論とゼミのレクチャーを通して組織の人にまつわる基礎知識を身に付けてもらいます。プロジェクトは、企業との合同もあれば、ゼミ内のみでの活動の場合もあります。

プロジェクトを通して、チームメンバーとテーマを議論し、データ分析を行い、自らの解が正しいかを検証し、結果をゼミ内や企業の方々に発表します。ゼミの2年間にいくつかのチームプロジェクトを行い、4年生の最後に総仕上げとしてグループで卒業論文に取り組みすることで、「自らの頭で考え、議論し、行動できる」人材へ成長してもらうことが、ゼミの目標です。

## ■ 新ゼミ生へ

村瀬ゼミの目標は早稲田大学でユニークなゼミを作ることです。ゼミで研究に真剣に取り組み、加えて「work hard & play hard」の精神で学生生活を送りたい方々の応募をお待ちしています。

人数：3年生 14人、4年生 14人 執筆：村瀬俊朗先生

# Contemporary Strategic Management

マレン ジョエル



## ■ 研究テーマ

This zemi focuses on developing skills for modeling and understanding the contexts in which modern business must operate. The complexity of the modern world means that effective business strategy must be a dynamic and evolving process that adapts to a changing business landscape. To address these challenges, managers must be able to identify causes and consequences of important change in both

the market and non-market environments of the firm.

## ■ 活動内容

The zemi focuses on the use of agent-based modeling and computational simulation to identify and understand the relevant factors influencing the coevolution of business and context. We also apply data analysis methods using the R programming language. Regarding content, we pay attention to reciprocal

relations between business and the natural environment. However, what we learn is useful across strategic management issues.

## ■ 新ゼミ生へ

Successful companies design strategies that leverage broader changes taking place in the world to innovate and remain competitive. Students will learn to recognize and respond to these complex issues by exploring how business influences society and society influences business.

人数：3年生 5人、4年生 3人 執筆：MALEN JOEL 先生

# 応用組織論研究

三橋 平



## ■ 研究テーマ

経営学、組織科学、経営組織論分野のゼミです。組織や、組織内の人材が、時代をリードし、変化に適応し、新しい価値を生み続けるためのメカニズムを実証的に研究することを目的としています。卒業研究のテーマは、就職や映画のデータを用いた研究、オンライン・ゲーム・サイ

トなどのレビュー・コメント分析、イノベティブな水着の特許分析、テニスのホーム・ゲームでの勝率データなど、自分の関心に沿いながら、正確な論証と実証に基づく卒業研究ができるようサポートしています。

## ■ 活動内容

ともかく楽しく、笑顔で、毎週のゼミが待ち遠しくなるように

運営しています。3・4年生合同のゼミで、和気あいあいと学び合えるのが大きな特徴です。

## ■ 新ゼミ生へ

大学時代に自分の将来に影響を与えるような出会いに恵まれることを願っています。

人数：3年生 5人、4年生 2人 執筆：三橋平先生

# Managing Human Resources

梁取 美夫



## ■ Theme

How do organizations manage people effectively—and why does it matter? In this group, we explore how companies design and implement human resource practices such as recruitment, selection, and compensation to achieve their goals. Our interests extend beyond national borders, examining the practices adopted by organizations around the world.

## ■ Activities

Our activities are designed to balance academic rigor with practical relevance. Through the program, students will develop the ability to (1) read and critically evaluate academic research articles, (2) apply research insights to real-world organizational challenges, (3) design and conduct research on their own business-related questions, and (4) communicate their

findings clearly to both academic and practitioner audiences.

## ■ Message

HR (Human Resources) を約してこう呼びますとは組織におけるヒトのマネジメントです。このトピックについて深く学びたい学生、将来HRの仕事に就きたい学生、ゼミやGMPの活動を通して自分を高めたいと考えている学生と一緒に学びたいと考えています。ゼミでは英語と日本語を併用します。

人数：3年生 16人 (4名留学中)、4年生 8人 執筆：梁取美夫先生

● 経営トピック

● 会計トピック

● マーケティングトピック

● ファイナンストピック

● 保険・リスクマネジメントトピック

● ビジネスエコノミクストピック

● 総合・学際科目分野

● 経営トラック

## 民法研究

新井 剛



### ■ 研究テーマ

新井ゼミでは、社会の礎ともいえる民法を研究します。民法は一般市民のための法律であり、私たち

にとって最も身近で重要な内容です。私人間のトラブル解決に役立つだけでなく、今日のビジネスで重要なコンプライアンスの意義も

深く学べます。

### ■ 活動内容

①民法の構造を理解した上で、近年相次いでいる民法改正の内容や背景等を学びます。②実務への影響が大きい最高裁判所による「判例」の内容や意義を皆で検討します。③法律問題をテーマとするシネマの鑑賞を通して、日本の法制度の問題点を考察します。

### ■ 新ゼミ生へ

主体性を持って研究に取り組み、就活や公務員試験の準備、体育会、サークル等との両立がしやすいゼミです。ゼミ生同士の仲が良く、大変雰囲気が良いです。教授の、民法を解説する際の表情のギャップが魅力です！私たちと楽しく民法を学びましょう！！

人数：3年生 18人、4年生 18人 執筆：茨木 琉之介、関戸 瞳、寺島 沙恵

● 会計トラック

## イノベーション研究

清水 洋



### ■ 研究テーマ

イノベーションを企業の競争戦略や組織構造、産業組織の観点から歴史的に分析しています。大きくは、(1) イノベーションにはどのようなパターンがあるのか、(2) イノベーションのパターンに影響を与えるのはどのような要因があるのか、(3) 企業はイノベーションのパターンをどのように戦略的に活用できるのかの3点を中心に

分析をしています。

### ■ 活動内容

ケースや論文、書籍などを読むとともに、実際に分析や提案を行っています。とにかく巨人の肩のぼります。OB,OGとのコミュニティも大切にしています。

### ■ 新ゼミ生へ

2019年から開講した新しいゼミです。これからどのようなゼミになっていくのか楽しみです。やる

ことは多いとは思いますが、それだけ得るものも多いはず。案をしたい人はぜひ遠慮してください。せっかく大学にきたのだから、ゼミに入って勉強した方がいいよ。できるだけ濃い議論をと思っているので、人数は8~10人程度と絞っています。

<https://sites.google.com/site/hiroshishimizu529/introduction>

人数：3年生 10人、4年生 10人 執筆：清水 洋先生

● マーケティングトラック

● ファイナンストラック

## グローバル経営

谷口 真美



### ■ 研究テーマ

グローバル経営、ダイバシティ・マネジメント

### ■ 活動内容

企業が国境を越える経営活動を、戦略論と組織論の観点から学びます。特に、人材を「資本」として捉え、その価値を最大限に引き出して企業価値向上につなげる人的資本経営が注目されているなか、ダイバシティという人的資本をマネジメントする「ダイバシティ・マネジメント」の観点から調査・分析・考察を行います。具体的

な活動として、1.最新の論文についての議論、2.海外大学の学生との議論・交流(昨年度はイギリスCranfield大学のEMBA生と議論・交流を実施)、3.特定企業についての研究発表会(昨年度は伊藤忠商事、オムロン、MSD、住友電工、MDC様にご参加いただきました)、4.海外企業を訪問し、工場など施設見学およびインタビュー調査を実施し、学術と経営の実践の両面から学びます。(昨年度はベトナムでJETRO、新日鐵、TOTO、住友電工、ニトリを訪問

し、今年度は台湾での研修を予定しています。)卒業生の進路は、住友商事、丸紅、三菱商事、ソニー、IBM、アサヒビール、アクセンチュア、メガバンクなど、卒業生との繋がりが魅力です。

### ■ 新ゼミ生へ

主体的にゼミ活動に取り組み、多様な人々との交流を通して新しい価値観を学び、議論を活性化し結論を導く力を身に付け、グローバルリーダーとして活躍したい方の応募を期待しています。

人数：3年生 6人(うち1人留学中)、4年生 7人 執筆：山口 航世

● 保険・リスクマネジメントトラック

● ビジネスエコノミクストラック

## 現代管理会計論

長谷川 恵一



### ■ 研究テーマ

企業の意思決定や業績管理等に用いられる「管理会計」を中心とした研究を行っています。管理会計論は経理・会計の範囲のみならず経営戦略・マーケティングなどの分野とも密接に関わっているため、自身の興味に合わせて幅広い分野の研究に挑戦できます。

### ■ 活動内容

ゼミ内定後に、管理会計とプレゼンの基礎知識を身に付けるため、2年生の

秋学期に4年生指導のもと「メンターゼミ」を行います。3年生春学期には、仮想企業を運営し、会計や経営戦略が業績に与える影響を体験する「ビジネスゲーム」を行い、勝敗結果の要因を分析します。秋学期はグループに分かれて研究を行い、他大学との合同研究発表会「インゼミ」を行います。4年生は卒業論文作成が中心です。また、年に2回(春と夏)に合宿を行っています。30年の歴史をもつ当ゼミでは、

OBOGとの交流も盛んで、就活やインターンシップなどについて卒業生が相談に乗ってくれます！

### ■ 新ゼミ生へ

当ゼミは学びの場・交流の場として価値のある環境です。当ゼミ生同士の交流は勿論、他のゼミ生や社会の様々な領域で活躍している卒業生と交流する機会も多いです。一緒に素敵な時間を作っていきましょう！31期生となる皆さんの参加を待っています！

人数：3年生 17人、4年生 18人 執筆：長谷川 恵一先生

● 総合・学際科目分野

## 財務報告と分析

奥村 雅史



### ■ 研究テーマ

本ゼミでは、企業情報の中で中核的存在である財務情報について、その有用性を多角的に検討します。とくに財務会計の機能(意思決定支援機能や契約支援機能)について理論的に理解するとともに、財務データや株価データを分析することを通じて、その実際の状況を検討します。実習によって必要となる分析スキルを身に付けながら、専門知識を深めることを目指します。なお、財務情報を補完する人的資本情報や

ESG情報など、近年開示が進んだ非財務情報についても研究の対象となります。

### ■ 活動内容

3年生は、専門性の高いテキストと関連する文献の輪読によって財務会計の機能を深く理解し、関連する事象についてPCによるデータ分析を行います(ゼミはPC教室で実施予定)。また、サブゼミを利用して日経STOCKリーグに参加します。そこでは、サブゼミに加えて4年との合同ゼミでアドバイスを受けながら企業分析レポート

を作成することによって、投資テーマを実現する株式投資案を提案します(昨年度は本ゼミから参加した3チーム中2チームが入選、うち1チームが入賞(敢闘賞))。4年生は卒業論文の作成がメインとなりますが、並行して幅広い分野の文献を輪読します。なお、合宿、企業等の見学、OB・OG会、他ゼミと合同のインターゼミを行います。

### ■ 新ゼミ生へ

当ゼミの活動に興味があればPC初心者でも大丈夫。

人数:3年生17人、4年生15人 執筆者:ゼミ生一同および教員

## 企業価値評価研究

大鹿 智基



### ■ 研究テーマ

このゼミでは企業価値評価という分野について学びます。企業価値評価は、財務諸表を読み解く会計の知識に加えてマーケティング戦略への理解、経済学を利用した市場動向の把握などの商学にまつわる分野と、政治の動向や環境問題などの商学以外の分野から、企業の将来性を幅広い視野で見ることが出来る学問です。この分野で使われる知識はM&Aや株式投資、企業の課題解決など、様々な戦略的判断を下す際にも活用されています。

### ■ 活動内容

活動内容は毎年異なりますが、今年度春学期の活動の1つに輪読があります。輪読では文章の内容をまとめて発表する報告と、論点を探して議論を行う討論を行います。報告では表現力、討論では考察力を身につけることを目標としています。また秋学期には発想力と論理的な文章を書く能力を身につけるために、論文を執筆します。その他にもゼミ生同士の仲を深めるために、月一企画や年一企画という交流イベントを企画しています。加えて他大学との合同ゼミ合宿ではビジ

ネスゲームを行うため、ゼミ生以外も交流しながら学ぶ機会があります。

### ■ 新ゼミ生へ

このゼミでは会計の知識を応用するだけではなく、企業価値評価という研究テーマで様々な学問を融合して学びます。また毎年ゼミの目標を自分たちの代で設定し、それに沿った活動内容を決定するため、自由度が高いです。積極的に行動できる主体性のある人、責任感があり、継続して物事に取り組み人をお待ちしています!ぜひ私たちのゼミと一緒に活動しましょう!

人数:3年生6人、4年生1人 執筆者:ゼミ生一同

## 財務報告の研究

山内 暁



### ■ 研究テーマ

会計を中心としつつ、他分野(マーケティング・経営戦略など)と融合させて学びます。

社会に出てから会計を学び直す人は多いでしょう。「会計がわからなければ真の経営者になれない」(稲盛和夫)という言葉が表すように、会計リテラシーはビジネスに必要不可欠です。なぜなら、会計がビジネス活動を表すストラクチャーであり、ビジネスの共通言語であるためです。ビジネスの共通言語である会計は、社会に出てからの強い武器となるでしょう。なかには「会計は味気ない」と感じる人もいるかもしれませんが。そう感じる

のは、会計を単独でみているためかもしれません。しかし実は、会計は他分野と切っても切り離せないものです。それらを一体として学べば、会計が面白くなります。私達は、知識の丸暗記などではなく、生きた会計と戦略思考を学びます。

### ■ 活動内容

●3年前期:輪読(会計ファイナンス等を扱う教科書を使用)、5分間プレゼン  
●3年後期:インターゼミ(知識を実践)、5分間プレゼン

### ●4年:卒論執筆

### ■ 新ゼミ生へ

●どのような方におすすめ?

- ・会計と他分野を融合させて学びたい方
- ・資格勉強などと両立したい方
- ・ゼミを楽しみ、生涯の思い出を作りたい方

X: @yamauchi\_zemi (右上 QR コード)

Instagram: @yamauchi\_zemi15

([https://www.instagram.com/yamauchi\\_zemi15?igsh=ZmtuaTBtZHExcWt3](https://www.instagram.com/yamauchi_zemi15?igsh=ZmtuaTBtZHExcWt3))



人数:3年生20人、4年生20人 執筆者:ゼミ生一同(代表 樋口 大和)

## 財務会計研究

八重倉 孝

### ■ 研究テーマ

国際分野を中心とした財務会計の理論について体系的に学び、会計情報の作成者や利用者の視点から分析を行います。また、会計情報が市場に与える影響などを経済学や統計学の視点を織り交ぜ、実証的分析を試みます。

### ■ 活動内容

3年前前半は財務会計の応用書を扱

い、個々のトピックについてプレゼンや議論を行います。並行して論文作成やプレゼンの技術を学びます。後半にはより発展した議論を応用書を用いて行い、グループでの論文作成を行います。4年では主に個人の卒業論文作成に取り組めます。また、夏合宿や、東京証券取引所・日本銀行等の見学を行います。

### ■ 新ゼミ生へ

本ゼミはゼミ生が主体となり、先生と協力して運営しているのが特徴です。新しいゼミならではの自由で柔軟な活動ができます。ゼミで得られたさまざまな知識と経験は卒業後も必ず大きな力になると思います。財務会計学に興味がある人や、学問を学ぶ上で論理的に考えるのが好きな人、その力をつ

けたいと考えている人は、ぜひ私たちのゼミと一緒に学びましょう。(なお、担当教員が2026年に特別研究期間から帰国するため、2027年度は3年生のみのゼミになる予定です)。

人数:3年生0人、4年生0人 執筆者:八重倉 孝先生

● 経営トピック

● 会計トピック

● マーケティングトピック

● ファイナンストピック

● 保険・リスクマネジメントトピック

● ビジネスエコノミクストピック

● 総合・学際科目分野

経営トピック

会計トピック

マーケティング

ファイナンス

保険・リスク

ビジネス

総合・学際科目分野

## Accounting, Economics and Society



スズキ トモ



**■ 研究テーマ**  
「Account-ing (説明+行爲)」による新しい Socio-Economy の構築を共通のテーマとし、国内外の経営、経済、サステナ政策に関して幅広くデータ作成、理論構築、政策提言、実装に貢献しています。岸田政権の「新しい資本主義」以降、高市政権下のコーポレートガバナンス改革まで、弊

研究室のデータや提言が多  
用されています。国際的には  
TISFD (不平等・社会問題財  
務報告タスクフォース) で中  
心的役割を果たしています。

**■ 活動内容**  
研究員は自主的にテーマを  
開発し追求します。「付加価  
値の適正分配・投資経営 (DS  
経営)」や TISFD の推進に  
携わる場合には、学生とし

てよりは、関係、企業役員、  
国際機関理事等と直接的に  
協働する研究員として活躍  
します。

**■ 新ゼミ生へ**  
詳しくは写真中の QR コード  
で。社会課題解決型のビジ  
ネスや研究に携わることは  
自身の遣り甲斐やプライド  
や Well-being につながりま  
す。一緒に。

人数：3年生8人、4年生6人 執筆者：研究員一同

## 会計・監査実務研究

関根 愛子



**■ 研究テーマ**  
実務に直結した学問である会計や監査を将来活かしていくために、授業で学んだ基本的な内容や考え方を踏まえ、どのように実務で使われているのかを知り、どのように使われるべきかを考え、議論していきます。

**■ 活動内容**  
会計や監査は国際的に標準化しているものの、実際のビジネスは一律ではありません。そのため、会計処理や監査の業務には常に判断が付きものであり、それをコミュニケーションしていくことが重要です。本ゼミにおいては、実際のビジネスや実務を踏まえた生きた議論を行い、どのように対応していくべきかを考えていきます。具体的なイメージを持つための企業等への訪問も積極的に行っています。また、3・4年合同での夏合宿や年二回ほど企業訪問を行っています。

**■ 新ゼミ生へ**  
「会計」「監査」と聞くと機械的に当てはめるだけ、地味といったイメージがあるかもしれませんが、実際には、従うべき基準を作るにも様々な背景があり、基準に従って処理するのも企業のビジネスをどうみていくかで議論が分かれるものであり、実務はとて奥深いものです。担当教員のこれまでの実務経験を通じて得た様々な会計や監査の実務を学び、メンバーで議論できるこのゼミは、基礎を学んだものの、なぜそうなっているか、実務はどのように動いているか気になる方に適しています。皆さんの積極的な参加を心からお待ちしております。

人数：3年生22人、4年生20人 執筆者：ゼミ生一同・教員

## 組織のデザインと管理会計研究

若林 利明



**■ 研究テーマ**  
経営組織や経営戦略のデザインに管理会計システムが果たす役割を学びます。組織目的達成のためには、①誰が意思決定を行い、②いかに業績 (成果) を測定し、③いかに褒賞するか、という「組織設計」を作り込む必要があります。管理会計システムは土台として、その

成否に大きな影響を及ぼします。若林ゼミでの学びを通じて、会計は無味乾燥な数字の羅列ではなく、その中心には常に人間がいることを実感してくれりと嬉しいです。

**■ 活動内容**  
3年生春学期は基本的な専門知識を習得します。秋学期にはグループごとに研究テーマを決め、企業訪問をしたり、他大学と合同で研究発表をする「インゼミ」を行います。4年生は卒業論文

を執筆します。論文のテーマは個人の関心に応じて自由に設定できます。

**■ 新ゼミ生へ**  
会計に自信がなくても大丈夫！若林ゼミでは基礎から丁寧に学ぶため、置いていかれる心配はありません。一方で発展的な分析や実践にも取り組むので、経験者にも新たな学びがあります。グループワークや合宿、インゼミを通じて仲間と楽しく成長できるゼミです。ぜひ一緒に充実した時間を過ごしましょう！

人数：3年生21人、4年生19人 執筆者：坂平大翔、谷口晃大

## 会計・ファイナンス・コーポレートガバナンス

河内山 拓磨



**■ 研究テーマ**  
財務会計を基礎とし、資本政策やコーポレートガバナンスなど企業をめぐる多様なテーマを扱います。現行制度や慣習を鵜呑みにせず、常に疑問を持って検証を重ねることが求められます。多角的な視点から価値創造に挑む、まさに会計学を軸とした「総合格闘技」です。

に疑問を持って検証を重ねることが求められます。多角的な視点から価値創造に挑む、まさに会計学を軸とした「総合格闘技」です。

**■ 活動内容**  
会計学やファイナンス、経営戦略論など複数分野のテキストを輪読します。並行して、学んだ知識を基に自ら調査・分析を行い「付加価値」を生み出す発表を実施します。「So

what? Why so?」を常に問い続けることを重視し、先生や学生どうしの建設的な議論を通じて、思考力と学びを深めています。

**■ 新ゼミ生へ**  
本ゼミのモットーは、「アットホームな知的集団」です。知的な刺激を得られる場でありながら、人とのつながりを大切に、誰にとっても「居場所」と感じられる環境

を目指しています。新しい発見や見方を創り出すことに喜びを感じ、クリエイティブかつ能動的に活動したい方をお待ちしております。本ゼミは一昨年新設されたばかりで、現在3期生の仲間を募集しております。私たちと一緒に、河内山ゼミの伝統の礎を築いてみませんか？

人数：3年生12人 (+聴講生1人)、4年生5人 執筆者：杉山由馬、飯塚萌

## 現代マーケティング研究

恩蔵 直人



### ■ 研究テーマ

ブランド戦略、製品市場戦略、市場参入戦略など、幅広いマーケティング戦略を深く掘り下げます。学生主体で研究テーマを設定し、発表することで、マーケティングの本質を理解し、主体的に学ぶことができます。

### ■ 活動内容

週1回の本ゼミと週2回のサブゼミで、4～5人のグループに分か

れて研究発表を行います。先生と学生からのフィードバックを通じて、マーケティング知識を深め、多角的な思考力を養います。サブゼミでは、学生主体で活動内容を決定し、議論を深めます。さらに、ビジネスコンテストへの参加や企業とのワークショップなど、実践的な学びの機会も充実しています。

### ■ 新ゼミ生へ

恩蔵ゼミの魅力は、学生が主体的

に活動できる環境です。研究テーマ設定や議論を通して、自主性と協調性を養えます。また、体育会や留学と両立しやすい環境も整っています。35年の歴史の中で培ってきたOB・OGとのネットワークも強みです。熱意と高い意識を持ち、互いに刺激を与え合いながら成長できる仲間を求めています。

人数：3年生25人、4年生22人 執筆：恩蔵 直人先生

## マーケティング・サイエンス研究

守口 剛



### ■ 研究テーマ

マーケティング・サイエンスとは、マーケティングにおける諸問題に対しデータ分析などの科学的手法を適用することで、マーケティング上の意思決定の質を向上させる方法論を研究する学問分野です。デジタル化が進み多くのデータが集まる現代において、科学的な視点を踏ま

えてマーケティングを行うことの重要性はますます高まっています。

### ■ 活動内容

毎週行われる本ゼミ・サブゼミに加え、春学期は他大学と合同で行う「インターカレッジゼミ」、秋学期は「関東学生マーケティング大会」への参加が主な活動です。これらの活動を通

して、マーケティングに関する知識はもちろん、プレゼン能力やロジカルシンキング、統計的データ解析といった将来にも繋がるビジネス・スキルを身につけることが出来ます。

人数：3年生0人、4年生19人 執筆：守口 剛先生

## 消費者心理学研究

須永 努



### ■ 研究テーマ

消費者の行動や意思決定に影響を与える無意識レベルの要因を心理学の視点から分析し、よりよいマーケティングコミュニケーションを探究するゼミです。

### ■ 活動内容

毎週の本ゼミとサブゼミでは、消費者心理に関連したテーマでグループ研究を行います。また、

それらの研究成果を他大学の学生と発表し合う「合同ゼミ」と秋学期から始まる「企業プロジェクト」が3年次における主なイベントであり、物事の考え方やプレゼン能力といった学術的観点を超えた力を精一杯磨くことができます。

### ■ 新ゼミ生へ

扱っている学問は実はとても身近

な存在であり、ゼミ活動を通じて日常世界を紐解いていく感覚は消費者心理学のおもしろさといえます。実生活に「？」を投げ、自ら問いに答えようとする“探究心”と“主体性”はいつの時代でも価値は変わりません。須永ゼミは、新しい世界の見方と新しい自分に出会える最高の場です。ご応募お待ちしております！

人数：3年生22人、4年生19人 執筆：高田 恭佑

## マーケティング・コミュニケーション研究

石井 裕明



### ■ 研究テーマ

マーケティング・コミュニケーションを中心に、様々なマーケティングの課題に取り組んでいます。消費者としての直感や経験を大切に、関連分野の学術的な理論やフレームワークから消費者の反応を正確に把握し、自分たちなりの実務的示唆を導くことがゼミの目的です。

### ■ 活動内容

3年次の活動では、実務家の方から課題をいただいて取り組むグループワーク、他大学との研究発表会、学会でのポスター発表、学外の学生論文コンクールへの投稿などを行う予定です。また、合宿などのイベントも実施していきます。

### ■ 新ゼミ生へ

石井ゼミは、2024年から開設されたゼミです。活動内容やイベントなどについては、皆さんの要望なども踏まえながら活動内容を決められればと思います。積極的かつ真面目に取り組んでくださる方の応募をお待ちしております。

人数：3年生21人、4年生21人 執筆：西本 満里

● 経営トピック

● 会計トピック

● マーケティングトピック

● ファイナンストピック

● 保険・リスクマネジメントトピック

● ビジネスエコノミクストピック

● 総合・学際科目分野

● 経営トピック

● 会計トピック

● マーケティングトピック

● ファイナンストピック

● 保険・リスクマネジメントトピック

● ビジネスエコノミクストピック

● 総合・学際科目分野

## マーケティング・マネジメント研究

外川 拓



### ■ 研究テーマ

幅広いマーケティング課題を対象に、学術的視点と実務的視点の両面から分析を行います。変化の激しいトレンドの背後にある本質的な法則を探索し、時代等の条件に左右されない普遍的な知識の獲得を目指します。

### ■ 活動内容

3年次は、春学期にグループで

論文や事例の研究に取り組み、理論を体系的に学びます。秋学期には産学共同研究を実施し、実際の企業課題に対して理論を応用しながら分析、提案を行います。4年次は卒業研究を中心とし、学会発表や他ゼミとの合同発表にも挑戦する予定です。

### ■ 新ゼミ生へ

外川ゼミでは、普段からマーケ

ティング関連の話題に触れ、問題意識をもち、能動的に活動に取り組みの方を歓迎しています。また、本ゼミは2026年度からの新設ゼミであり、活動内容や運営体制については模索を続けています。そのため、組織づくりに積極的に関わっていく意欲のある方をお待ちしています。

人数：3年生 23人、4年生 0人 執筆：藤村三平、関口壮一郎

## The World's Corporations in a Globalized Society



広田 真一



台湾の大学でのプレゼンテーション

### ■ 研究テーマ

世界中の企業の経営について学びます。企業の目的、行動、戦略、ファイナンス、ガバナンス、パフォーマンス（収益性、成長性、ESG）等を国ごとに比較し、各国の企業の共通点と相違点を考察します。そして、そうした国ごとの企業の特徴が、その国の経済、法律、文化、宗教などから生じているかどうかを検討します。

### ■ 活動内容

ゼミでは、世界の企業、経済、法律、文化、宗教等の知識を身につけ、分析力・考察力を高めるとともに、英語と日本語のどちらでもプレゼンテーション、ディスカッション、ライティングができるようにします。また、今や広田ゼミの伝統となった慶應義塾大学や一橋大学とのインターゼミ（日本語で実施）、中国・香港・台湾・韓国・シンガポ

ールなどの海外の大学の学生との共同学習（英語で実施）も行います。

### ■ 新ゼミ生へ

ゼミでの学習に情熱を持って取り組み、君たちの資質とポテンシャルを著しく伸ばし、10年後に日本で、あるいは世界で、グローバルな社会に貢献する人になることを願っています。

人数：3年生 0人（2027年度サバティカルのため）、4年生 9人 執筆：広田真一先生

## コーポレート・ファイナンス

谷川 寧彦



### ■ 研究テーマ

ファイナンスと機械学習です。主に金融関連の数値データと機械学習の手法を用いて予測や分類を行います。健康診断でコレステロール値が高いと運動量を増やすようアドバイスされるのことが多いのですが、データ上は運動量が多い人はコレステロール値も高いという傾向がありま

す。このようなパラドックスを解決する手段も学びます。

### ■ 活動概要

使うプログラム言語はPythonです。基本を習得した後、ある日の株価の騰落を前日までのデータから予測するモデルを推定するなど、具体的な応用例を学びます。また、他大学とディベート交流試合も行います。

### ■ 新ゼミ生へ

時間を守り自分の守備範囲はきちんとこなすなど、チーム活動ができることが前提です。各人がゼミでやりたいことを互いに調整し、ゼミとしてまとまった活動ができれば、有益な2年間になると思います。

人数：3年生 14人、4年生 14人 執筆：谷川寧彦先生

## フィナンシャル・エコノミクス

尾崎 祐介



### ■ 研究テーマ

行動経済学の視点から金融を学ぶゼミです。心理学と経済学を組み合わせた行動経済学のテーマである「なぜ人間は非合理的な行動をするのか」を切り口に、金融分野の研究を行います。

### ■ 活動内容

3年次では行動経済学の教科書の輪読を行いつつ、グループに分かれて商学部懸賞論文に向けて準備

を進めていきます。研究を進めるなかで、ビブリオバトルやゼミ合宿、他大学との合同ゼミを行い、多くの発表機会を設けています。またグループ活動が中心なので、ゼミ生と切磋琢磨しながら学ぶことが出来ます。

### ■ 新ゼミ生へ

尾崎ゼミではメリハリを大事に活動しており、学んだことをアウトプットする機会が多くあります。

金融をメインとしたゼミではありませんが、ゼミ生が興味ある分野を行動経済学の観点から学ぶことが出来ます。学生の主体性を重視し、学生が新しい取り組みを提案することも可能です。学生生活最後の2年間を尾崎ゼミで有意義なものにしましょう。

\* 2027年度は在外研究のため応募しない予定です

人数：3年生 0人、4年生 0人（教員が在外研究のため） 執筆：江崎美紗希

## フィナンシャル・インベストメント

片桐 満



### ■ 研究テーマ

ファイナンスや株式投資について研究しています。ポートフォリオ理論の基礎的な勉強から始め、プログラミングを用いたポートフォリオ構築や、データ分析を通じた投資テーマの選定について学びます。

### ■ 活動内容

ファイナンスやデータ分析の教科書を輪読しながら、教科書で学んだ理論をデータ分析に応用してもらいます。データ分析については、そのためのプログラミング演習も取り入れます。並行して、ストックリーグという株式投資コンテストに参加し、数人のグループを作って、自分たちで選んだテーマに沿って投資先を選んでもらいます。

科書を輪読しながら、教科書で学んだ理論をデータ分析に応用してもらいます。データ分析については、そのためのプログラミング演習も取り入れます。並行して、ストックリーグという株式投資コンテストに参加し、数人のグループを作って、自分たちで選んだテーマに沿って投資先を選んでもらいます。

### ■ 新ゼミ生へ

投資経験のある方や金融機関への就職を考えている方はもちろん、金融に少しでも興味のある人たちが、幅広く楽しめるゼミにしたいと思っています。

人数：3年生 15人、4年生 15人 執筆：片桐 満先生

● 経営トピック

● 会計トピック

● マーケティングトピック

● ファイナンストピック

● 保険・リスクマネジメントトピック

● ビジネスエコノミクストピック

● 総合・学際科目分野

## リスクマネジメント研究

李 洪茂



めまぐるしく変化する現代において、企業が潜在するリスクを予測し、管理することはますます重要になっています。私たちのゼミでは、金融危機、企業の不祥事、リコール事態など、企業が抱えるさまざまなリスクを特定し、それに対処する手段について研究しています。

このゼミは、毎週1人がプレゼンテーションを担当し、その内容について討論する形式で進められています。プレゼンテーション能力や論理的思考力、議論を通じて情報・自分の考えを伝える力も養うことができます。

また、このゼミには、リスクマネジメント分野の世界的に権威のある李先生をはじめ、個性豊かな仲間が集まっています。リスクマネジメントに関心のある方はもちろん、楽しみながらも真剣に学びたい方、ぜひお待ちしております！

人数：3年生 12人、4年生 0人 執筆：坂井 瑞希

## Study of Insurance from a Global Perspective



中出 哲



### ■ 研究テーマ

保険を題材にしていますが、ゼミで扱うテーマはとても広いです。保険は社会の様々な領域に関わっているためです。特に、外国の保険制度やグローバルな保険に関心を持っています。研究テーマはゼミ生が議論して決めます。昨年度は、東南アジアの自然災害・DX化・日本の農業問題に対する新保険の構築に取り組みしました。

### ■ 活動内容

昨年は例年同様、年間を通して開催

される「保険アイデアコンペ」に向けて、新保険制度の発案に取り組みました。(2025年度も無事優勝し、韓国本戦の日本代表枠を勝ち取りました!) 秋には「東京学生保険ゼミナール」の参加に加えて、日本代表として参加した韓国での「保険アイデアコンペ」にて英語で新保険制度を提案し、特別賞もいただきました。このように活動内容は国内外幅広いものとなっています!

### ■ 新ゼミ生へ

本ゼミは多様な分野に強みをもつ学生によって主体的に運営を行う点に特徴があります。そのため、自ら主体的に活動することが大切です。また、多様な学生が在籍しているからこそ、何かに挑戦しようとするゼミ生を全力で応援する環境が揃っています。進路も様々で、就職に限らず、長期留学する者や国内外の大学院に進学する者など多岐にわたります。

人数：3年生 8人、4年生 10人 執筆：上野 通大

## 保険経営と数理

星野 明雄



### ■ 研究テーマ

保険を保険会社の戦略や保険事業の特性など様々な観点から研究します。複数の研究案を持ち寄り、投票によりテーマ・グループを決定します。テーマに応じて数理的な分析が必要となりますが、数理知識は特に問われません。(昨年と今年のゼミ長の基礎数学の成績はCです!)

### ■ 活動内容

今年度は「採用・研修における回

収不能リスク」「シェアモビリティ」などに注目し研究を行っています。1チーム4人ほどに分かれて発表準備を行い、ディスカッションを通してテーマについての理解を深めます。また、今年度はそれらの研究テーマを基に、他大学との合同発表会にも参加する予定です。

### ■ 新ゼミ生へ

本ゼミは開講して5年目の比較的新しいゼミです。最大の特徴は、

先生と先輩との距離の近さです。保険会社での多くの実務経験に基づき、多面的なアドバイスをしてくださる先生と、個性豊かなゼミ生が、温かい雰囲気の中で活動しています。少人数の保険のゼミだからこそ経験できることが多いため、少しでも興味があればぜひ説明会にお越しください!

人数：3年生 6人、4年生 7人 執筆：永石 遼斗

経営トラック

会計トラック

マーケティングトラック

ファイナンストラック

保険・リスクマネジメントトラック

ビジネス・エコノミクストラック

総合・学際科目分野

## 保険法研究

中村 信男

### ■ 研究テーマ

このゼミは、「保険・リスクマネジメント」トラックに新たに設置する専門演習であり、保険制度等を法的な観点から研究することを目的とする。すなわち、保険制度が、保険契約者と保険者間の保険契約を前提として利用されるものであり、契約当事者間の関係のみならず、保険者と損害保険の被保険者・生命保険

の保険金受取人との関係等も、法律上の権利義務の問題として捉える必要があるため、当該トラックで保険制度を学習するに当たり、保険契約法の観点からするアプローチは不可欠である。そこで、本ゼミでは、保険契約締結における保険契約者等の告知義務や保険者（および代理店）の説明義務、保険金の支払・保険者の免責、保険金不正請求に対す

る法的規律等につき、裁判例をケーススタディの素材として用いて、保険制度を法的に検討する。

### ■ 活動内容

本ゼミは、上記のテーマにつき、予め割り当てられた裁判例を素材としてゼミ生にプレゼンテーションを行ってもらい、その後、ディスカッションを行うことを基本的な活動内容とした上で、業界関係

者をゲストスピーカーとして招くこと等を予定している。

### ■ 新ゼミ生へ

本ゼミは、従来「会社法研究」という名称のゼミを経営トラックで開設していた担当者が、保険トラックに移ったことに伴い新設するものであるが、保険制度を法的にも学んでみたい場合は、奮って応募して欲しい。

人数：3年生0人、4年生0人 執筆：中村 信男先生

## 貿易商務研究

田口 尚志

### ■ 研究テーマ

本ゼミは「貿易」を、とにかく具体的に、客観的に、ありのままに観察し、そこから物事を考えてみようというゼミです。必然的に、オペレーション・レベルの現場を大切に、オベーション・レベルの現場を大切に、より上層レベルの事象も重視しながら（国際関係に絡んだ高次元の諸問題にも関心を持ってもらいたい）、「貿易」を考えてゆきます。要は、「貿易」を様々な角度から研

究し大学4年間の集大成である卒業論文に活かす。これが田口ゼミの研究テーマです。

### ■ 活動内容

ひたすら地味な内容です。安価でどこでも読める文庫や新書を中心に、できる限り多くの、幅広い内容の本一傾向としては歴史を重視したものを多く読み、考え、議論し、また考える。そして、それを卒業論文に活かし、仕上げてゆく。これらのごくごく普通のごくごくありふれた一連のプロセスです。大きなジャンプをするには大きく屈まなければなり

ません。「将来のために一度大きく屈んでみるか」と心を決めた学生に、とくに、いつでも容易に他者と繋がる今だからこそ、孤独になって物事を見つめ書庫に潜りこんで考えてみたいという学生に（ほんの少しでもそこに価値を見い出せる学生に）、来てもらいたいと思っています。ゼミは3・4年合同で行います。今年も例年通り多くの本を読む予定を組んでいます。参考までにゼミ3年生が本年度中に読むのは、『ザ・フェデリリスト』、『アメリカ外交50年』、『民間防衛』等を含め合計30冊（他

に英語論文も数本）ほどに上ります。少しきついかもしませんが本学の学生はそれをこなす能力を十二分に持っているの、積極的にトライしてもらいたいと思っています。

### ■ 新ゼミ生へ

3・4年合同の合宿を計画しています。本当の面白みというのは真剣さがあってこそ生まれます。尖った真剣味を求めている学生は、是非、田口ゼミの門を叩いてみてください。皆さんよりほんの少し成熟したゼミ生が、あたたかくーときに厳しくー迎えてくれるでしょう。

人数：3年生8人、4年生10人 執筆：田口 尚志先生

## Study of International Trade Risk Management



任 素英



### ■ 研究テーマ

国際貿易は国内企業に海外市場への進出機会を提供します。また、企業は国際貿易を通じて生産規模の拡大、コスト削減を実現し、規模の経済性を達成します。現在、国際貿易リスクは新たな貿易リスクで多様化しています。したがって、変化する国際貿易リスクを分析し、対応策を適用することは、持続可能な国の経済、企業のビジネスのために、欠かせない永遠のテーマです。

### ■ 活動内容

任ゼミでは、リスクマネジメントの理論を基に、国際貿易で発生可能な様々なリスクを把握し、実際の事例を通じて分析することに重点を置きます。3年生の春学期は国際貿易に関する英語文書の読解と発表の練習を通じて国際貿易リスクを把握します。3年生の秋学期は、国際貿易リスクとリスクマネジメントに関するケーススタディと学術論文を読解す

る練習をします。その後は論文のテーマを自分で設定し、本格的に研究活動を開始していきます。

### ■ 新ゼミ生へ

国際貿易とリスクマネジメントに興味があり、熱意をもってゼミに取り組める学生は誰でも歓迎します。研究発表や、論文作成を2年間、英語で行う練習を通じて、皆さんがグローバルで活躍できる人に成長することを期待しています。

人数：3年生9人、4年生7人 執筆：任 素英先生

## マクロ経済理論

片岡 孝夫



### ■ 研究テーマ

当ゼミのテーマの中心はマクロ経済学の理論です。マクロ経済学は時代とともに変化してきており、一本の木のように発展してきました。私たちはJ.M.ケインズの理論を出発点として、それが多様な理論に発展する様子を学習し、それぞれの持つ考え方の相違点や背景について研究しています。中にはノーベル賞もの理論もあり、それを理解することもできるのです。理論という堅苦しく聞こえるかも知れませんが、それは世界が動く仕組みを根本から理解し

ようとする幾多の努力の結晶です。そうしたことを実感し、もの見方を身につけることは、一時の流行に惑わされずにものごの本質を見極める力になるでしょう。

### ■ 活動内容

普段の活動では、教授お手製のテキストや論文の輪読、マクロ経済のシミュレーション分析の実習や自由なテーマによるプレゼンテーションを行ないます。その他、合宿や企業見学などのイベントも行っています。合宿では、四年生のリードのもと、班

ごとに行ってきた研究の発表を行います。

### ■ 新ゼミ生へ

片岡先生は朝からで親しみやすく、また非常に学生思いで、一人ひとりにしっかりと目をかけてくださいます。一方、学生の自主性を重んじ、新たなチャレンジを歓迎されています。私たちは、型にはまらず、ゼミ生がそれぞれの個性を発揮して活動することを目指しています。ゼミでの活動は一生の財産になると思います。数学に不安な人、慣れるから大丈夫！ぜひ、積極的に参加お待ちします！ X: @kataokato\_k\_zemi

人数：3年生14人、4年生16人 執筆：齋藤 沢和

## 開発経済学研究

高瀬 浩一

当ゼミでは、主に発展途上国の経済分析を中心とする開発経済学を学びます。担当教員が取り組んでいる太平洋諸島海域（特に、ミクロネシア）に関する研究に加えて、各ゼミ生が関心のある世界中の途上国について研究することができます。3年生のゼミは、商学部卒業生として標準的な素養や技術、さらに、4年生の卒業研究に必要な

知識を身につけることを目的とした授業が展開されます。具体的には、ミクロ経済学の基礎の習熟（開発経済学の教科書の輪読）、実用的な英語（英字新聞の講読や英語による課題発表）、統計分析（自分の担当国に関するデータ分析）、時事的な背景知識などに関する授業などが挙げられます。また、年に数回、外部の研究機関や施設にてフィー

ルドワークを行うこともあり、生きた知識を身につける事ができます。当ゼミ最大の特徴は、ゼミ活動がほぼ全てゼミ生の主体性に委ねられている点にあります。合宿やOBOG会の開催から、授業の運営方針まで、ゼミ生が主体的に意見を出すことができる自由闊達なゼミです。学生生活において卒論など何か一生懸命頑張った成果を

残したい方や、決められた受け身のゼミ活動だけでなく、自分達でゼミ活動を運営していきたい方の参加をお待ちしております。ちなみに、来年度は担当者の在外研究により、ゼミは開講されません。

人数：3年生0人、4年生5人 執筆：高瀬浩一先生

## コンピュータによる統計分析とその応用

坂野 慎哉



### ■ 研究テーマ

本ゼミでは、統計を「特技」として活用する力を身につけることを目標に、基本的な統計理論とコンピュータ操作を学んでいきます。ゼミ生全員が、統計的な考え方とデータ分析力をバランスよく高めることを目指しています。

### ■ 活動内容

3年次には、統計学の基礎知識を身につけるとともに、Excelなどを用いた演習で実践的なスキルを習得します。また、統計検定2級の合格を目標に、問題演習にも取り組みます。4年次には、計量経済学分野を学習し、卒業論文にも取り組んでいます。

### ■ 新ゼミ生へ

本ゼミでは、基礎から応用まで幅広く学ぶことができます。坂野先生は授業での小さな疑問もわかりやすく説明して下さるので、安心して勉強できます。データに基づく思考力を身に付けた人にとって、貴重な最初の一歩を踏み出せる場となるでしょう！

人数：3年生1人、4年生5人 執筆：工藤梨暖

## 企業の経済学

久保 克行



### ■ 研究テーマ

主に企業のデータを用いて多角的に分析しています。近年はAIを活用し、財務情報や株価にとどまらないデータを用いた研究も行っています。例えば、「あるチェーン店が多くの店舗でアルバイト募集をしている場合、それは事業拡大の兆しといえるのか」といったデータ分析を用いて企業の実態を捉えています。このようにデータ分析

能力をもとに、マーケティング、経営戦略、国際経営などの知見も横断して学んでいます。

### ■ 活動内容

論文をグループごとに分析しプレゼン発表を行います。発表の際に先生からの確かなアドバイスを頂けるので、リサーチ力と論理的かつ簡潔に話す力が身に付きます。校外活動は春には企業協同ワーク、秋には台湾研修を予定しています。

### ■ 新ゼミ生へ

毎年1、2名ほどアナリストを目指す学生がいて、意欲的に学べる環境が整っています。グループ活動では軽井沢、台湾での合宿もあるため、ゼミ生同士の交流も深まりやすく、楽しく充実したゼミ生活を送ることができます。

人数：3年生17人、4年生18人 執筆：松村優希、安場代進

## 計量経済学とその応用

片山 東

### ■ 研究テーマ

人や企業の行動、社会現象を説明するために社会科学には様々な理論があります。それらの理論の妥当性を検証するために、「理論の与える仮説が現実のデータとマッチしているかどうか」、また「現実のデータを理論がどの程度説明できるか」を統計的にチェックする方法があります。計量経済学はそのためのツールです。理論の検証以外にも計量経済学は用いられます。例えば、政府が行った政策

の定量的評価や、「ある製品の価格や属性が変化したときに、その製品や他の製品のマーケットシェアはどのように変化するか」などの予測にも用いることができます。このゼミは、(1) 計量経済学の手法の理解、そして (2) 計量的手法を用いて現実のデータを分析する能力を身につけること、を目的とします。

### ■ 活動内容

計量経済学の学習は、「理論」の学習と「応用」（すなわち計量の理論をどの

ように現実のデータに用いるのか）の学習の二本立てになります。「理論」については教員による講義がメインです。「応用」については、計量ソフトを用いて現実のデータを分析することで、計量的手法を実際に使えるようになることを目指します。3年次の後期は2つのチームをつくり、それぞれのチームで論文を作成し、学部の懸賞論文に応募することを目標とします。この過程で学術論文の書き方を学習します。4

年次は自分でトピックを選び卒業論文を作成してもらうことになります。

### ■ 新ゼミ生へ

履修に際しては (1) 必修科目「基礎数学」程度の数学の知識、(2) 選択科目「基礎統計学」程度の確率・統計学の知識、(3) 初級レベルのミクロ経済学の知識、そして (4) Excel と Word が使える程度のコンピュータのスキル、が前提となります。この中でも確率・統計の知識は特に重要になります。

人数：3年生6人、4年生6人 執筆：片山東先生

● 経営トラック

● 会計トラック

● マーケティングトラック

● ファイナンストラック

● 保険・リスクマネジメントトラック

● ビジネスエコノミクストラック

● 総合・実践科目分野

● 経営トピック

● 会計トピック

● マーケティング

● ファイナンス

● 保険・リスク

● ビジネス

● 総合・学際科目分野

## 産業組織論研究

加納 和子

### ■ 研究テーマ

産業組織論は、企業を経済主体として扱い、市場・産業における企業の相互依存関係や消費者行動を分析する応用ミクロ経済学の一分野です。日頃接している小売企業の戦略はどのように分析できるのか、またそうした戦略は消費者にどのような影響を及ぼすのかといった問いについて、経済学的な

視点を中心に考えます。また、ゼミではデータ分析の手法も学習します。実際にデータをみて自ら分析することで、多くの発見を得ることができます。

### ■ 活動内容

3年次には文献の購読とゼミ生による報告を行い、産業組織論の基礎的な理論やトピックを学習します。代表的な教科書や論文を輪読し、

データ分析の学習や演習をふまえたグループワークを行います。4年次には個人研究の発表と卒論の作成を行います。自ら問いをたてデータを収集し、統計学的手法を用いて分析・考察していただきます。

### ■ 新ゼミ生へ

グループワークや卒論研究では、必ずしも産業組織論の枠にとらわれる必要はなく、自身が重要だと

思う問題を深く考察してほしいと考えています。関心はあるけれど一見どう扱ってよいのかわからないテーマをどのように分析可能とするかはゼミ生次第です。そのような問いにこそ、重要な問題提起がかけられている可能性があります。一緒に活気あるゼミを創っていきましょう。

人数：3年生12人、4年生10人 執筆：加納和子先生

## Empirical Study of Policy Evaluation



富 蓉



### ■ 研究テーマ

The primary aim of this seminar is to facilitate students in enhancing their decision-making proficiencies. Empirical investigations endeavor to infer a causal conclusion regarding the research inquiry by utilizing data obtained through observations or experiments.

### ■ 活動内容

This seminar mainly concentrates

on quantitative analysis, thus enabling students to acquire a comprehensive understanding of econometrics and to adeptly utilize statistical software like Stata to deduce legitimate causal inferences. Once they have established a solid foundation in empirical research, students will be expected to present their own research proposals, which could pertain to any field, such as

the healthcare system, education system, or financial laws.

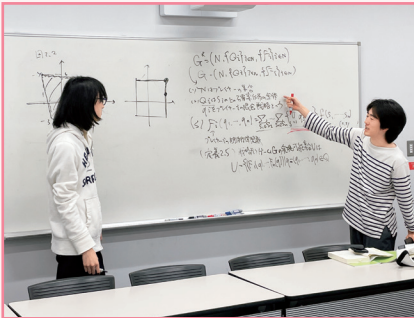
### ■ 新ゼミ生へ

Upon successfully completing the seminar, students should be able to scrutinize the impact of policies using an evidence-based methodology, a fundamental skill that would be exceptionally advantageous for their future careers or graduate studies.

人数：3年生0人、4年生0人 執筆：Rong Fu 先生

## 数理経済学研究

原 和弘



このゼミでは、数理経済学に関する研究を行います。主に意思決定理論とゲーム理論の研究を行います。意思決定理論は個人や集団の意思決定について研究する学問です。ゼミでは特に経済学の様々な文脈における合理的意思決定についての研究と、そうした研究をゲーム理論等の関連分野に応用する研究を行っ

ています。ゼミの目標は、卒業論文としてある程度独自性のある研究をまとめることです。3年次は数学書の輪読を行い、必要な数学の知識を身につけます。数学は第二外国語としてコスパが良く、一年間の勉強で多くの学術書や論文が読めるようになります。4年次は卒業論文のテーマを決め、関連書籍を読

みながら研究を進め、成果をまとめます。ゼミ生には研究活動を最優先し、主体的に取り組むことを期待します。並行履修科目として「ゲーム理論と戦略」を設定しています。

人数：3年生2人、4年生0人 執筆：原和弘先生

## 国際経済学研究

横山 将義

### ■ 研究テーマ

国際経済学は、ものの流れを対象とする国際貿易論と、かねの流れを対象とする国際マクロ経済学(国際金融論)から構成されます。これらを学ぶ上で、ミクロ経済学やマクロ経済学の基礎をしっかりと修得することが前提となります。また、理論のみならず、その応用としての経済政策についても研究を行います。

### ■ 活動内容

3年生のゼミでは、まずミクロ・マクロ経済の基礎理論を取り上げ、その後、国際経済学の分野へと進みます。テキストの指定範囲をグループごとに報告してもらい、ゼミ生間の議論を通じて国際経済学に対する理解を深めることとなります。4年生は1年間学んだ理論的背景をもとに、みずからテーマを設定して卒業論文

の執筆にあたります。経済学の分析手法などを用いて2年間の研究成果をまとめる機会となります。サブゼミは、本ゼミの準備に充てる場合もあれば、懸賞論文に取り組む場合もあり(日銀懸賞論文等で入賞しています)、ゼミ生自身が決めることとなっています。毎年9月にはゼミ合宿を行い、研究だけでなく、スポーツやバーベキューなどゼミ生間の親

睦を深める機会となっています。

### ■ 新ゼミ生へ

ゼミは研究報告や相互の議論とおして、ものの見方やものの考え方を身につける場です。このような知的な取り組みは、社会に出たからさまざまな場面で役立つものだと思います。ゼミは共同作業の場なので、各種の活動に協調して取り組む姿勢が必要となります。

人数：3年生11人、4年生13人 執筆：横山将義先生

## 国際経済関係研究

池尾 愛子



### ■ 研究テーマ

人間の活動を根底から支える、化石燃料や再生可能エネルギーのようなエネルギー源に関して、幅広い観点から研究するゼミです。活動の中では、エネルギーと強い相関がある世界情勢や国際経済の動向について学ぶこともできます。

### ■ 活動内容

3年前期では、資源エネルギー庁の『エネルギー白書』をはじめとした

様々な資料や文献を用いて、国内外のエネルギー動向に関して前提知識を得ます。その後、夏休みの合宿や後期ゼミではグループワークを行い、発展的な議論、発表を行うことを目標に活動します。また、発表内では逐次教授から内容の補足やアドバイスをいただけるため、理解をさらに深めることが可能です。

### ■ 新ゼミ生へ

日本は、極めて低いエネルギー自給

率の上に成り立っています。今後、こうした構造を変革していくのはまさに私たちの世代です。また、近年、SDGsなど環境意識の高まりから、エネルギー分野は注目を集めています。このゼミに参加することで、前述したような社会課題に対する理解を深め、自分自身の考えをもつ一助になると考えます。皆さんもぜひ、エネルギーの観点から国際経済関係を研究してみませんか？

人数：3年生0人、4年生12人 執筆：武井学陽

## Economic and Business History: Global Perspectives



矢後 和彦



### ■ 研究テーマ

本ゼミでは、グローバルな視点から経済とビジネスの歴史を探索します。国際機関やグローバル企業のアーカイブ資料（公文書や記録）を活用し、意義のある歴史的な問いを立てる方法や、複雑な記録を分析する手法を学びます。経済活動がいかにより国際社会を形作り、また社会が

ら影響を受けてきたのかを、長期的な視点から分析的に理解することを目指します。

### ■ 活動内容

一次史料の読解や歴史データの分析を通じて、批判的思考力（クリティカル・シンキング）とコミュニケーション能力を養います。また、GMP（グローバル・マネジメント・プログラム）の

一環として、多様なバックグラウンドを持つ未来のグローバルリーダーたちと交流する機会も豊富にあります。

### ■ 新ゼミ生へ

英語で授業が行われるので、英語力をつけたい方を歓迎しております。専門的な知識は必要ありません。ぜひ一緒に歴史をひも解いていきましょう！

人数：3年生15人、4年生15人 執筆：遠藤照太

## 雇用労働研究

小倉 一哉

### ■ 研究テーマ

働く人の約9割は、「雇われて」働いています。そのような人々を雇用労働者と言います。「雇用労働研究」とは、雇われて働く人の様々な問題を考えることを意味しています。就職活動・インターンシップ、アルバイトのトラブル、働き方改革・過労死、同一労働同一賃金、ジョブ型雇用、AIと雇用、副業・兼業、

障がい者雇用など、様々な問題がある今日、ゼミを通じて主体的に学ぶことを、目的としています。

### ■ 活動内容

3～4人を1つのチームとして、半期ごとにチームを入れ替え、グループ研究をして、期末に研究発表をします。各チームは、研究テーマを相談し、関連する文献サーベイを行い、関係者へのインタビュー

調査を実施し、最後にプレゼン資料を作成して、発表します。テーマによっては、インタビューを依頼する人や会社が複数になり、また、遠方へ出かけることもありますが、自ら企画しフィールドワークをすることは、ゼミ生の実行力を育み、とても良い社会勉強になっています。

### ■ 新ゼミ生へ

3年生はサブゼミが1コマありますが、部活動などと両立できるように、その他の時間をゼミ活動で使うことは基本的にありません。ただし、その分、積極的にゼミ活動に取り組まないと、仲間にも迷惑をかけます。「ゆるさ」だけを求めて来る人は、遠慮して下さい。

人数：3年生15人、4年生17人 執筆：小倉一哉先生

## 産業・企業ダイナミクス研究

宮川 大介



### ■ 研究テーマ

実証分析手法の学習とその応用を中心に学びます。最終的には、ゼミ生自身が興味を持ったテーマについて、データを収集・分析し、その結果をどのように解釈するかを考えられる力を身につけることを目標としています。

### ■ 活動内容

3年次前期では、RとStataを用いてデータ分析手法を学習します。3

年次後期から4年次にかけては、学んだ手法を用いたりサーチを、コンクールへの参加や卒業論文といった形で実践に移っていきます。宮川ゼミは討論スタイルで行われるのが特徴です。ゼミ生の発表に対して宮川先生だけでなくゼミ生同士でも質問をすることで理解を深めます。

詳細は、こちらをご覧ください。

<https://sites.google.com/view/miyakawa-seminar-wdsoc/>

miyakawa-seminar-wdsoc/

### ■ 新ゼミ生へ

データ分析では、分析手法やデータの背景、さらに分析結果を理解し、それを相手に伝えるための思考力が求められます。そのため、さまざまな視点から物事を考え、分析的な専門性を身につけたい方を歓迎します。

人数：3年生5人、4年生5人 執筆：寺田拓生

経営トピック

会計トピック

マーケティング

ファイナンス

保険・リスク

ビジネス

エコノミクス

総合・学際科目分野



経営トラック

会計トラック

マーケティングトラック

ファイナンストラック

保険・リスクマネジメントトラック

ビジネスエコノミクストラック

総合・学際科目分野

## 国際貿易と経済学

市田 敏啓

### ■ 研究テーマ

本ゼミでは国際貿易に関するトピックを中心に据えながら、「経済的な考え方」を身につけ、世の中のあらゆる出来事に対して「自分の頭で考えること」ができるようになることを目的としています。英語のテキストを用いて経済学とプレゼンテーションの仕方を学び、日本語の文献を大量に読んで議論

します。市田ゼミに入ると、英語力、ロジカルシンキング、プレゼン力、経済学の基礎と応用が身につきます。

### ■ 活動内容

通常のゼミ活動、サブゼミに加えて、国内の勉強合宿が年2回、海外大学交流・研修合宿（2023はタイ2024は台湾）が年1回、スキー合宿、インゼミ活動（昨年度は学

習院、上智、青山、中央、津田塾など）を行います。先生はゼミ後の食事会などにも頻りに顔を出してください、他愛のない話から社会で身につくマナーなど様々なことを教えてください。また、先輩後輩の繋がりも市田ゼミの大きな魅力の1つです。卒業後の進路は総合商社、金融業界、大手メーカー、コンサルティング、マスコミ、

大学教授職、シンクタンク研究者、国家公務員総合職など、多岐にわたります。

### ■ 新ゼミ生へ

ゼミ活動の良さは、仲間と一緒に難しい課題に取り組むことです。活動に必要なのは、「やる気」や「積極性」であり、今勉強が得意であるかは全く関係ありません。市田ゼミで一所懸命に頑張りましょう。

人数：3年生19人、4年生9人 執筆：丹治和貴

## 国際貿易研究

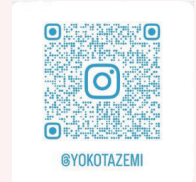
横田 一彦



14期生と15期生



ゼミ総会



人数：3年生14人、4年生14人 作成者：15期生一同

## 日本経済史・経営史

結城 武延

### ■ 研究テーマ

結城ゼミでは、日本経済史・経営史を対象に、企業、市場、金融システム、制度がどのように形成され、変化してきたのかを学びます。歴史を単なる過去の知識としてではなく、現在の経済や経営を理解するための手がかりとして捉えることを重視しています。とくに、企業や投資家、政府などの経済主

体が、どのような環境のもとで意思決定を行ったのかを、史料やデータに基づいて考えることが本ゼミの特徴です。

### ■ 活動内容

前期は、歴史学の方法論に関する文献を輪読し、史料批判、論文の読み方、問いの立て方、議論の組み立て方を基礎から学びます。そのうえで、文章資料の読解だけで

なく、統計や数量データも活用し、定性と定量の両面から歴史を分析する力を養います。報告や討論では、内容紹介にとどまらず、論点や疑問を自分の言葉で示し、根拠をもって議論することを大切にしています。

### ■ 新ゼミ生へ

歴史が好きな人はもちろん、企業や市場の成り立ちを深く知りたい

人、資料やデータを用いて論理的に考える力を身につけたい人を歓迎します。ゼミは教員と学生が一緒につくっていく場です。自ら問いを立て、仲間と議論しながら学びを深めたい人の参加を待っています。

人数：3年生12人、4年生0人 執筆：結城 武延先生

## 西洋哲学史理論研究

辻内 宣博

### ■ 研究テーマ

このゼミでは、西洋哲学の歴史を哲学理論的な観点から研究することを主要テーマとしています。古代・中世期の哲学、あるいは、近世・近代期の哲学であっても、できる限り、現代哲学のテーマトピックと関連させることを目指します。というも、哲学という学問は、歴史性がありつつも、他方で、

どの時代でも根本的には似たような問題圏をめぐって議論を積み重ねていると考えるからです。

### ■ 活動内容

哲学の研究手法は、基本的には、文献研究です。それゆえ、まずは読むべき資料を確定し、その後、精密かつ丁寧にその資料を読解していくことがベースになります。その精密で丁寧な読解の中で、こ

れがどんな議論に繋がっていくかが見えてくることもありますので、適宜、資料を離れて、身近な事例を使いながら、議論を深めていくこととなります。

### ■ 新ゼミ生へ

商学部に進学したのに、なぜ人文科学研究？と思われるかもしれませんが、しかし他方で、近年の企業経営において、哲学や倫理学に基づ

いて、物事の理解の仕方や考え方を再検討するという試みが行なわれることもあります。いわゆる、批判的な分析／クリティカル・シンキングとなりますが、この手法は、哲学が生まれつき備えていた方法論です。もしこのようなことに関心があれば、是非、選択肢の一つとして検討してみてください。

人数：3年生5人、4年生0人 執筆：辻内 宣博先生

## トポロジー理論研究

安原 晃

### ■ 研究テーマ

私の専門分野は幾何学の一分野である(低次元)トポロジーです。特に結び目理論の研究をしています。このゼミでは、結び目理論に限らず、トポロジーに関連するテーマを勉強する予定です。具体的なテーマはゼミ生と相談の上で決める予定です。

### ■ 活動内容

トポロジー関連の専門書(洋書)を輪講形式(1冊のテキストに関して、ゼミ生が順番に講義する)で勉強していきます。担当者は、自分が先生になったつもりで、入念に「講義」の準備をして来て下さい。私は、生徒になったつもりでいろいろと質問

します。あらかじめ担当者を決めて行いますが、担当者が欠けた場合は、他のゼミ生と交代してもらるので、各自が毎回発表できるように準備してきて下さい。

### ■ 新ゼミ生へ

トポロジーの知識を得るためだけでなく、数学の専門書を通

して、正しく理解し(読み)表現する(書く、話す)力を培うことが、ねらいでもあります。数学の基礎知識が足りなくとも、やる気さえあれば何とかできます。毎回の予習・復習には、かなりの時間を費やす覚悟が必要です。

人数:3年生0人、4年生0人 執筆:安原晃先生

## 力学系理論研究

渡邊 展也

### ■ 研究テーマ

力学系理論(dynamical systems)は時間と共に変化する状態の記述を元とする数学の分野の一つです。力学系的な考え方は数学の様々な分野に現れますが、歴史的には、そのメインストリームは、ポアンカレによる三体問題における常微分方程式の解の定性的(位相的)研究に発し、様々な先駆的研究の

のち、スモール達やロシア学派による双曲的力学系の構造安定性を中心とした研究を経て、ストレンジアトラクターの構造の解明など、現在では一様双曲性を越えた更に精緻な研究が盛んに行われています。カオス理論や準結晶などとも関係があります。数学の他の分野との関わりもますます深く緊密になってきています。力学系の考え

方の基本を理解し、ある程度使うことができるようになることが目標です。

### ■ 活動内容

力学系理論研究ゼミでは力学系理論のテキストを選び、輪講形式で基礎からしっかりと学んでいきたいと思えます。(輪講形式とは、学生が順番に内容を解説して学んでいくことです。)

### ■ 新ゼミ生へ

基本的なことからしっかりと理解して進めていきたいと思えますので、積極的に予習復習を時間をかけて行うことが必要になると考えられます。意欲のある方の参加を期待いたします。

人数:3年生0人、4年生0人 執筆:渡邊展也先生

## 幾何学理論研究

山口 祥司

### ■ 研究テーマ

数学において図形を研究する分野を幾何学といいます。さらに図形の定量的な性質を研究する分野は微分幾何学、定性的な性質を研究する分野は位相幾何学(トポロジー)とよばれています。この他にも多項式方程式が定める図形を研究する代数幾何学といった分野もあります。このゼミでは微分幾何

学・位相幾何学に関連する内容を学びます。大学で学習する微分積分学・線形代数学・群論を応用して図形を研究する発展的な内容を予定しています。

### ■ 活動内容

幾何学理論研究では微分幾何学・位相幾何学の専門書をテキストに選び、輪講形式でテキストの内容を学習します(輪講形式とは参加

生がテキストの担当箇所を順番に解説講義して内容を学習する形式のことです)。ゼミで使用するテキストは幾何学の専門書を想定していますが関連する内容であれば他の分野の専門書でも大丈夫です。テキストの選定は参加学生と相談して決定します。

### ■ 新ゼミ生へ

数学の専門書は多かれ少なかれ説

明の細部を読者が補うことを想定して書かれています。専門書の解説講義を行うには、専門書が省略していると思う説明の細部を準備しておくことが大切です。発表を意識して専門書を読み進めることで専門的な内容を深く理解し、参加学生と共有する方法を身につけていってほしいと思えます。

人数:3年生0人、4年生0人 執筆:山口祥司先生

## 英語コミュニケーション研究

佐藤 詩恵

### ■ 研究テーマ

本ゼミでは、英語学の専門知識をもとに高度かつ実践的な英語運用能力を段階的に養成していきます。国際的なビジネスの場で活躍することを目指す学生や、海外の大学院への進学を志す学生を主な対象としています。学校教育ではあまり扱われることのない話し言葉の文法や、ビジネスレターや契約書といったフォーマルな文書に適した表現を学び、状況に応じて「自然に響く

英語」を発信できる力を養成します。

### ■ 活動内容

まず、プレゼンテーションやディスカッションを通じて、多くの優れた英語関連書籍やビジネス実用書(日本語・英語)から要点を抽出し、得られた知識を整理することから始めます。その後、英語学分野の基本概念や用語を学び、GMAT対策問題集や学術論文など多様な教材を活用しながら、文や発話の流れ(情報構造)を学習します。本ゼミ

では、英語母語話者の使用事例を集めたコーパスや、生成AIを積極的に活用し、自身の英語力を分析・可視化した上で、弱点の把握と克服に取り組みます。AIツールについては、AIリテラシーからプロンプト設計まで基礎から体系的に学びます。

### ■ 新ゼミ生へ

英文法を「知っている」と「使えること」は別であり、英文法の知識だけをもとに実践しようとしてもずくに

限界が見えてきます。一通り英文法を学習し終えたと感じている学生は、これまでの学習とは異なる、実践に必須の知識を身につけてみませんか。英語学習に真剣に向き合い、最後までやり抜く覚悟(?)のある学生を募集します。

人数:3年生0人、4年生0人 執筆:佐藤詩恵先生

● 経営トピック

● 会計トピック

● マーケティングトピック

● ファイナンストピック

● 保険・リスクマネジメントトピック

● ビジネスエコノミクストピック

● 総合・学際科目分野

経営トピック

会計トピック

マーケティング

ファイナンス

保険・リスク

ビジネス

総合・学際科目分野

## 音声学・音韻論研究

篠原 靖明

SCAN ME



### ■ 研究テーマ

[Phonetics, Phonology, and Cognitive Neuroscience]  
We will investigate how humans perceive and produce language sounds by conducting experiments. We will also examine how perception and production are different across languages. For example, English has three distinct vowels, /æ/, /ɪ/, and /a/, while Japanese has only one corresponding vowel, /a/. Japanese speakers have difficulty discriminating these English vowels, and their brain responses differ significantly from those of English speakers.

### ■ 活動内容

This Research Practicum in Speech Perception and Production seminar aims to enhance students' research skills in speech perception and production. Students will select or be assigned a research topic, collect and analyze data, write a conference paper, and present it at an international conference. Through these activities, students will improve their logical thinking and develop skills in data analysis and academic writing. All activities are tailored to students' interests. If they wish to undertake a study trip, arrangements can be made.

### ■ 新ゼミ生へ

ゼミ内では、英語の文献を読み、英語で授業も行いますが、英語力が必須ということはありません。必須なのは、研究内容を深く理解しようとする姿勢です。実験を通して多くのデータを収集し、プレゼンの準備も行うため、根気強さも重要です。高いゴールを目指すために努力できる学生の応募を強く望みます。I hope you will join us on an enriching journey studying speech perception and production.

人数：3年生2人、4年生0人 執筆：篠原 靖明先生

## スピーチアクト&ポライトネス研究

鈴木 利彦

### ■ 研究テーマ

英語コミュニケーションにおけるスピーチアクト（発話行為）とポライトネス（丁寧さ・適切さ）のストラテジーの研究を行います。グローバル化が進む現代社会において、文脈に応じて相手の意図を正確に理解し自らの意図を効果的に伝達することが益々重要になっています。そのために重要なのが

スピーチアクトとポライトネスの理解、習得、並びに研究です。感謝、謝罪、依頼、招待などのスピーチアクトがどのように遂行され、それらのためにどのようなポライトネスが用いられているかを語用論の観点から研究します。

### ■ 活動内容

基本的な専門書の購読からはじめ、文献調査、データ収集・分析、プ

レゼンテーション、レポート執筆、そして最終的には卒業論文執筆を行うことにより、当該分野の専門知識を身につけていきます。アメリカ・サンタクララ大学とのオンラインフォーラム交流を通じて英語コミュニケーションにおけるスピーチアクトとポライトネスのストラテジーの実践研究を行う予定です（予定変更の場合あり）。

### ■ 新ゼミ生へ

相手と状況と目的に応じて私たちは言語を使い分けている、ということ考えたことはありますか？友達に「ありがとう!」、お世話になっている先生に「ありがとうございます」と無意識のうちに言うのは何故でしょうか。それは我々には言語を社会的状況に合わせて使用する能力が備わっているからなのです。

人数：3年生2人、4年生0人 執筆：鈴木 利彦先生

## SDGs実践プロジェクト(上級英語)研究

バウワー ジャック ビクター

### ■ 研究テーマ

本ゼミでは国連の持続可能な開発目標(SDGs)への理解を深めながら、英語運用能力の向上を目指します。問題解決型学習(PBL)アプローチを用いて、地域社会に根ざした課題に取り組み、持続可能な解決策を英語で探究します。

### ■ 活動内容

1年間のコースを通じて17のSDGs

とその意義について考え、地域および国際的なプロジェクトの成功事例を学びます。春学期には、少人数グループに分かれ、SDGsの達成に向けて活動している地域のNPOやNGOを調査し、その活動を評価する短いドキュメンタリーを作成します。秋学期には地域課題を選び、SDGsに基づく小規模な解決策を考案・実施します。学生独

自による活動が難しい場合は、地域のNPO等との連携による調査やボランティア活動を行います。毎学期の終わりにグループ発表を行い、ゼミ全体でプロジェクトを共有・評価します。

### ■ 新ゼミ生へ

本ゼミでは、理論的な学びと実践的な活動を融合させることで、英語力、批判的思考力(クリティカ

ルシンキング)、チームワーク、プロジェクトマネジメント力を総合的に鍛えることができます。地域社会に貢献したい、グローバルな視野を広げたいという意欲を持つ方の参加を心よりお待ちしております。

人数：3年生3人、4年生0人 執筆：バウワー ジャック ビクター先生

## 英語辞書と出版

山田 茂



### ■ 研究テーマ

「辞書と出版」の授業の冒頭、トム・マッカーサー博士が、Concise Oxford Dictionaryをかたどった缶から豆辞書を取り出して言いました：1. 辞書は教育的な書物であると同時に商品であるため、予算、人件費等、ページ数、納期も決まっている；2. そのような制約の中で使用対象を念頭に、採算が合うように企画されていて、豆辞書もやはりである。つまり、売れるように、限

られた箱の中に、情報を取り出しやすく収納しているのです。Lexicographyは辞書の「研究」と「作成」の両方を指します。英語辞書以外の辞書類、学習参考書、ネット辞書、アプリも研究対象になります。辞書は発音、文法、意味、用法、語源を含みますので、英語そのものも研究の対象になります。

### ■ 活動内容

・辞書(学)他に関する講義・ディスカッション  
・代表的な論文、本の輪読

・英語力向上(発音、プレゼン、ライティング(プレゼンスクリプト等))  
・出版業界からゲストを招いての講演

### ■ 新ゼミ生へ

本ゼミでは、山田先生の研究テーマである英語辞書を背景に、実用的な英語能力向上のための活動も行っています。総合・学際科目分野のゼミとして2026年度に開設されたばかりの山田ゼミを共に盛り上げていきましょう！

人数：3年生2人、4年生0人 執筆：山田茂先生、中川翔暉、畔上慶大

## ドイツ文化研究

### ■ 研究テーマ

本ゼミは1871年から1945年までのドイツ科学史・文化史を対象とする。植民地主義、人種主義、民族衛生学、優生学を中心としながら、当時の人間の思考と他者に対する眼差し・表象の政治を明らかにすることを主な目標とする。旅行記・探検記などの一次資料をはじめ、人類学、医学、地政学、動

物学など多様な視点を交えながら、既存のカテゴリーを問い直す思考と表現を目指す。また、ドイツと日本の間の思想的・文化的交流にも目を向け、比較の視点を養う。

### ■ 活動内容

小説・専門書・映像・ポスターなどを扱いながら、テーマに関連する問いをグループで共有し、検討する。プレゼンテーションや議論

を通して、作品と理論を結びつけ、自らの視点を鍛える。異なる分野の思考と出会いながら、「読む」・「見る」という行為の可能性を再発見する場でもある。特に4年生は、ゼミでの議論と探究を基盤に、卒業論文の個別指導も行う。

### ■ 新ゼミ生へ

このゼミでは、「当たり前」を疑うところからすべてが始まる。現代

社会の構造、制度、文化に潜む「見えにくい規範」や「排除された声」に目を向け、自分ならではの問いを育てていこう。本や映画を通じて、思考の限界を越えていく冒険に踏み出そう。「読めないものを読む」「名前のない感覚にかたちを与える」—そんな試みに挑戦したい人を歓迎する。

執筆：クラウド マヌエル フィリップ

## クラウド マヌエル フィリップ

● 経営トピック

● 会計トピック

● マーケティング

● ファイナンス

● 保険・リスク

● ビジネス

● 総合・学際科目分野

## メディア文化研究

### ■ 研究テーマ

ディズニー映画が原作のメルヘンと違うストーリーなのはなぜ？/アニメが2.5次元舞台になるときどんな変化が生じる？/〈聖地巡礼〉(コンテンツツーリズム)などファンダムによる文化実践は何を生み出す？etc. —このゼミでは、文字テキスト、映像からデジタルメディアに至る多様なメディアにおいて展開される文化的現象(文学、映画、アニメ、漫画、ゲーム、写真、

MVなど)をめぐり、メディア研究や文化研究(カルチュラル・スタディーズ)、映画研究、比較文学比較文化などの視点から学際的に調査・分析・考察を行ないます。

### ■ 活動内容

3年次はメディア文化を学術的に研究する方法について、重要文献を講読しながら身近な現象を手がかりに学習します。とくに、1)コンテンツ文化の【生産】/2)メディアを通じた【流通】/3)

【受容】のなかで生じるイノベーション、の3つの側面に注目します。

文献講読はグループ発表のかたちで進めます。たんに理論を理解するだけでなく、具体的な事象の分析ツールとして「使える」ように活用・習熟しましょう。4年次ではみなさんそれぞれが関心のあるメディア文化現象についてリサーチし、研究発表にまとめたうえで、ゼミでのディスカッションを踏まえて卒業論文を作成します。

### ■ 新ゼミ生へ

「メディア文化研究」ゼミは2026年度に産声を上げたばかりの新しいゼミです。ぜひ〈2期生〉としていっしょにゼミを作り上げてみませんか。広くメディア・コンテンツに関心のあるみなさんの参加をお待ちしています。

人数：3年生6人、4年生0人 執筆：柳橋 大輔先生

## 柳橋 大輔

## フランス映画研究

### ■ 研究テーマ

このゼミは三つの目的があります。1. 名作と珍しい映画の鑑賞を基に映画の特徴を分析します。特に台詞と映像の関わりについて考えて、映像の力を注目します。2. 映画は異国の文化、歴史、社会を理解できる近道として、フランスの文化とフランス人の考え方を紹介します。3. 映画の評価の基準

について考えて、映画の紹介の仕方を練習します。面白いが面白くないという単純な感想に留まらないで、自分の意見を他人に伝える練習します。

### ■ 活動内容

娯楽映画とは一味違う様々な映画を教室で見て、先生の解釈を聞いて、映画の新しい見方を体験します。また、学生同士で映画の感想を比

べてみるディスカッションも行われます。同じ映画の十人十色の受け止め方は、映画の多様性を証拠します。

### ■ 新ゼミ生へ

フランス語学習のゼミではありません。第二外国語としてフランス語以外の言語を選んだ学生もこのゼミに参加できます。また、フランス映画を見たことのない学生も、

映画に詳しい学生もこのゼミを選択できます。ただし、積極的に参加する必要があります。居眠り禁止。今まで見慣れた映画と違う映画の発見と映像の力の理解で視線が広くなれば、ゼミ以外にも映画を見たいくなります。

人数：3年生15人、4年生0人 執筆：M.M.パルヴェーレスコ先生

## M. M. パルヴェーレスコ

## スペイン地域研究

### ■ 研究テーマ

当該教員の専門は言語学(スペイン語・日本語の比較対象)であるが、現代のスペインについて学際的な視野も持ち合わせている。スペインと日本の社会は、異なる点が目立つのも確かではあるが、類似点もある。さらにまた、お互い似たような問題に直面していることも事実である。特に次の3つの点について、スペイン・日本の対照研究ができるようにゼミを

開きたい。  
・地方の問題(少子高齢化、その対策と政策)  
・観光産業がもたらした諸問題(治安、迷惑行為、物価高騰、等)  
・Turismo Rural(外国人向けではない地方観光産業)  
なお、スペイン地域研究の分野に関するテーマであれば、学生のニーズや希望に合わせて内容を調整することにもやぶさかではない。

### ■ 活動内容

スペイン地域研究では、基本的にまずビジネス・スペイン語を学びながら、スペイン経済の特徴を把握し、ゼミ生が提案したテーマについて知識を増やします。3年生のゼミではCEFR(ヨーロッパ言語共通参照枠)B1レベルのビジネス・スペイン語を勉強し、4年生のゼミではB2レベルのビジネス・スペイン語を取得します。プレゼンテーション、レポートや論文などは学生が自ら

で選んだ研究テーマについてのものになります。

### ■ 新ゼミ生へ

本ゼミのスペイン語はゼロから始めるものではありません。1年生の時にスペイン語を選び、2年生の時もスペイン語の選択科目(2つ以上)を勉強したという学歴がなければ本ゼミのスペイン語はとて難しいかと思えます。

人数：3年生1人、4年生0人 執筆：ロペスハラ サンティアゴ先生

## ロペスハラ サンティアゴ

● 経営トピック

● 会計トピック

● マーケティング

● ファイナンス

● 保険・リスク  
マネジメント

● ビジネス  
エコノミクス

● 総合・学際科目分野

## 東アジア文化研究

小川 利康



### ■ 研究テーマ

東アジア（日本、中国、台湾、香港、韓国など）における地域社会の諸相を比較文化論の視点から探究するゼミです。日本との相互比較だけでなく、東アジア全体を俯瞰する多角的比較研究も行います。ゼミ参加には、中国語か朝鮮語（韓国語）の学習歴があるか、どちらかを母語

とすることを要件とします。ゼミ生がそれぞれ言語学習を通して感じた違和感を手がかりに、異文化とどのように上手に付き合うかを幅広く話し合える場になりたいと思います。

### ■ 活動内容

このゼミで学習する内容は文化研究が中心ですが、東アジア文化がカバーする範囲は非常に広

汎です。人類学、社会学に係わる社会論、国地域で異なる衣服、料理など風俗習慣論だけでなく、サブカルチャー研究も歓迎します。東アジア文化に係わる問題が含まれていれば、ビジネスも取り上げます。教員は皆さんの意欲を具体化するお手伝いをします。

人数：3年生0人、4年生0人 執筆：小川利康先生

## 中国語圏の歴史とアイデンティティ

中村 みどり



### ■ 研究テーマ

中国大陸、香港、台湾の近現代史を取り上げながら、その時代やジェンダーなどの角度から、それぞれの国・地域における人々のアイデンティティの模索について考察をかさねます。密接な交流がありながら、近年では「近くて遠い」と報道されがちな近隣の国・地域の有り様を、内側から理解し、かつ多層的に分析し、それを文章化する力を身につけることを目標とします。

### ■ 活動内容

ゼミ生の興味を踏まえて選ぶ、日本語および中国語のテキストを輪読し、適宜、映像資料も利用します。また担当を決めてパワーポイントを作成し、報告を行ないます。フィードバックを重ね、プレゼンテーションの基本を身につけながら、課外活動もまじえて、各自の問題意識を明確化してゆきます。秋学期には、卒業論文のテーマについて考え、論文執筆の準備を徐々にすすめます。

### ■ 新ゼミ生へ

これまで1～2年生を対象としたプロゼミを担当していましたが、専門ゼミとしては2026年度スタートです。今年は日中関係に興味を持った人が集まったため、日本のメディアにおける中国像の変遷に関する本を読んでいます。中国大陸、香港、台湾の歴史文化の差異について柔軟に理解し得、また自分なりの興味を持っている人の参加を希望します。

人数：3年生2人、4年生0人 執筆：中村みどり先生